

- ①証明問題の変化。三角形の合同や相似の証明とは違った問題が出題された。
- ②ねじれの位置が出題された。
- ③大問1の問2と問6

→入試本番では少しの変化でも受験生にとっては嫌なものです。①と②はその例。③は計算間違いをしそうな問題です。全体的な印象として「三平方が出題されないとはいえ、使いこなせる人の方が絶対有利になる」試験でした。大問4と5の最後の問題はやや難しい（気が付けば大問5は即答ですが…。）ものの、私立や各道府県でよく出題される問題でした。したがって上位校の子は影響が少なく、標準校の子が点数を落としたものと思われる。

平均点は昨年の 61.1 点からの微増、「62 点」と予想します。

1 小問集合

- 問2 式の計算の中でも分数形の引き算は定期試験でもよく出る問題。-7bの部分でミスしなければ。
- 問6 平方完成されている二次方程式。不意打ちされると間違いやすい問題。
- 問8 問題文の意味がわからなかったという生徒もいたはず。

2 式の説明

- 問1 この時点で「？」になってしまう生徒はいるものの、地道に面積を求めていけば大丈夫。
- 問2 図形の各部分の説明を書けさえすれば、内容自体は楽な問題。ただ、説明分をどうやって書くのか、結論をどうやって導くのかは経験が必要であるため、日々の鍛錬の差がもろに出た問題。

3 関数

- 問3 等積変形で解くのもよし、面積を素直に求めて解くのもよし。…ただ、共通問題としては難しい。

4 平面図形

- 問2① 二等辺三角形であることの証明。合同や相似の証明からの脱却なのか、今回がたまたまなのかはわからないが、変更点としてはこの問題が一番だと思う。意表をつかれた生徒は慌てたはず。ただ、同位角に気が付けば案外簡単かも。
- 問2② 相似を使うが気が付くかな…。これを落として 95 点という人もいるはず。

5 空間図形

- 問1 ねじれの位置は延長線まで考える、という中1の定期試験対策でやるようなひっかけ問題。過去問演習中心の子は間違いなく意表を突かれた。「7本」と書いている人が結構いそうな気がする…。
- 問2 AからBCに引いた高さが求めれば楽勝。気が付くかどうかの問題。